

## 第 73 回日本放射線技術学会総会学術大会にて技術新人賞・防護分野を受賞しました (2017/4/13-16)

テーマ：放射線技術と防護  
 会場：パシフィコ横浜

2017年4月13日～16日、パシフィコ横浜において行われた Japan Radiology Congress: JRC2017 に当研究所の災害医学研究部門 災害放射線医学分野の千田浩一教授と稲葉洋平助教が参加しました。JRC は、日本医学放射線学会総会・日本放射線技術学会総会学術大会・日本医学物理学会学術大会・国際医用画像総合展の合同開催で行われ、毎年約 1 万 3000 人が参加する日本最大の放射線学会です。

当大会において、稲葉助教が日本放射線技術学会より「研究奨励賞（技術新人賞・防護分野）」を授与されました。これは、毎年全国約 1 万 8000 人の会員の中から 9 分野各 1 名に送られる賞です。また稲葉助教は招待講演と英語口述発表を、当分野所属の 八島幸子氏（博士課程後期三年）は英語口述発表を行いました。（講演題名は以下のとおり。下線は当研究所所属教員および大学院生、太字は発表者。）

### 招待講演

英語発表支援セミナー『英語発表のポイントとコツ～若手会員向けのメッセージ～』

**稲葉 洋平**

### 口述発表

『Fundamental Study of a Novel Radiation Dosimeter using a Multi-Channel Real-Time Monitor（新型マルチチャンネルリアルタイム線量計の基礎的検討）』

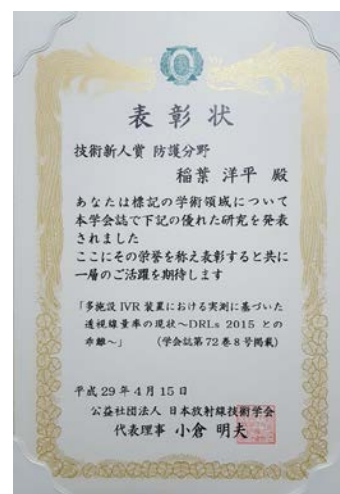
Yohei Inaba, Fumitaka Sato, Takafumi Honda, Koichi Chida

『Knowledge of the Screening Organization Staff on Ionizing Radiation at the Site of the Fukushima Nuclear Disaster: A Comparative Study between 2013 and 2015（放射線意識調査における震災 2 年後と 5 年後との比較検討）』

Sachiko Yashima, Koichi Chida, Takayasu Kaneko



稲葉助教表彰式の様子



技術新人賞表彰状